



大地

(じねんじょ通信)

発行者: 社会福祉法人じねんじょ
 発行日: 平成22年 4月 1日
 TEL : 083-252-2227
 FAX : 083-252-2259
 E-mail jinenjo@jinenjo.or.jp
 http://www.jinenjo.or.jp



「新たな春を迎えて」

社会福祉法人じねんじょ
 理事長 金原洋治

じねんじょも間もなく7回目の春を迎えますが、今年は、6人のメンバーさんが仲間に加わる予定ですので春が待ち遠しいです。現在スタッフは、新たなメンバーさんを御迎えするための準備中です。

今年は、当法人では2つの大きな事業を行う予定です。1つは、新たな活動の場=拠点づくりです。年々メンバーさんが増え、とくに平成22年には、急に増えることが予想されていました。生野の場だけでは窮屈になってきていましたので、数年前から新たな活動の場を探していましたが、昨年春閉院した垢田の旧橋本小児科医院の跡地を好条件で購入することができました。橋本操先生にはご高配いただき感謝しております。現在、新たな活動の拠点として整備にとりかかり、今年の5月にオープン予定です。垢田の辻交差点のスイミングスクール隣りにある便利な場所です。オープンしましたら是非お立ち寄り下さい。今回、土地購入費用や施設整備費用を銀行から新たに融資を受けました。今後とも、皆様のご協力ご支援の程よろしく御願います。

2つ目は、今年6月19日開催予定のじねんじょフォーラムです。今回のフォーラムでは、じねんじょができるきっかけとなった社会福祉法人訪問の家朋の日浦理事長さん、横須賀の「ゆう」の飯野総合施設長さん、保護者であり理事長である瀧川さんの3人の方をお招きいたします。2つの施設は、じねんじょより10年前、5年前に同じような理念を持って開設した先輩格の施設ですので、今までもさまざまなお知恵をいただきました。今回は、メンバーさんや保護者の方が年を重ねたとき、重い障害あっても、地域で暮らすためには、どのような支援や準備が必要なのか、両施設の取り組みをご紹介いただき、じねんじょの将来像を皆様と一緒に考えてみたいと思います。

時期が近づいたら、改めてご案内いたしますので、参加よろしく御願致します。

平成22年度 年間行事及び参加する行事予定

平成22年

- 5月 じねんじょ分場「だいち」OPEN予定
- 6月 じねんじょフォーラム
- 7月 下関市レクリエーションボッチャ大会
- 8月 馬関祭り
- 9月 社協福祉大会(展示)
- 10月 じねんじょフェスティバル
- 11月 下関市障害者交流卓球大会
- 12月 手をつなぐみんなの福祉フェスタ

平成23年

- 1月 成人を祝う会
- 3月 もちつき



成人を迎えたメンバーの保護者のひとこと

「二十歳を迎えて」

下道道代

平成元年八月、はたちでこの子を産みました。育児書を何冊も買い、呼吸法を練習したりして、待ちに待った子供でした。

3か月の健診で障害があるとわかり、20才まで生きられないだろうと言われました。毎晩泣く私に、主人は“この子は俺達の所へ選ばれてきた子だから泣いてばかりじゃいけない”と言いました。それから東京まで検査しに行ったり、お祓いをしに行ったりしました。寝返りもできるようになり、お座りも少しできるようになり、笑顔もたくさん見せてくれました。その内に下の子が次々と生まれ、にぎやかを通り越し戦争のような日々の中、“自分は兄ちゃんだから”と言うように、あまり手のかからない子になっていました。

体調の変化があったのは小学6年の秋頃からです。胃腸炎で入院したのを始めに、1年に1回のペースで大きく体調をくずすようになり、痙攣もひどくなりました。それでも何とか学校生活を無事に送れたのも、親の私以上にこの子に関わってくださった先生方に本当に感謝の気持ちで一杯です。卒業して2年、大きな体調のくずれもなく、毎日マイペースでじねんじょでの生活を送っています。他の子がいろんな活動をしている中、この子は寝ていてもいいかなと思います。それでも今年の抱負は「経験」なので、一歩踏み出そうと思い、フェニックスへ行きました。これからも少しずつ増やせていければいいなと思います。

我が家は今、あの頃がうそみたいに、穏やかで静かな家になりました。由幸との会話?も増えました。ちょっとした表情も気づけるようになりました。



じねんじょ分場

「だいち」5月にオープン！！

5月にオープン予定の従たる施設の名称は「だいち」に決まりました。住み慣れた地域で活動する場所が増えます。



只今、改装中！！

下関西ライオンズクラブさん主催！ 第6回もちつき大会

平成22年3月25

開会式



もちつき大会は毎年恒例となっています。今年もご厚意により開催することができました。鍛冶正乗会長はじめライオンズクラブのみなさん、ありがとうございます。

1年を終えてのコメント

じねんじょでの1年目が過ぎ、もうすぐ2年目になろうとしています。メンバーの思いに気付くこと、思いを引き出すことの難しさを痛感しています。支援員さんたちのメンバーへの関わりを見ながら真似をしてみたり、メンバーの好きな歌や話をしてみたりと暗中模索中ですが、これからも作業療法士として、じねんじょのメンバーの一員として頑張っていきたいと思います。 作業療法士 橋川 愛

じねんじょにきて早くも1年がたちました。活動中や送迎中など、メンバーのみなさんが笑顔になってくれると、とても嬉しいです。

知識、技術共にまだまだ勉強不足なので、これからも自分を磨き、メンバーのみなさんが笑顔になってくれるような支援をしていきたいです。これからもよろしくお願いします。 保育士 村木智幸

活動紹介

じねんじょ



楽しいひな祭り
上手に作れたかなあ？



むくっこ
みんなで音楽活動♪
ららら~♪♪

じねんじょのみんなで
お祝いしました

むく



金原理事長
遺暦おめでとうございます

なにをつくってるの？
できてからの楽しみ



クリスマスに現れた
トナカイさん♪

みんなで初詣にいきました



むかご



クッキングをしたよ
イチゴを切ってます♪

じねんじょDEインタビュー

今回は、毎週月曜に来られている（株）有菌製作所の松本さんにインタビューをしました♪

じねんじょのメンバーさんの印象は？

好感をもっており、いつも優しくしていただいて感謝している。

じねんじょのイメージは？

明るいイメージ。スタッフが一人ひとり一生懸命だと思う。

近所に福祉施設があることについてどう思いますか？

もっと数を増やしていけば良いと思う。

ちょっとずつ利用する方が楽になると思う。

最後に一言コメントをお願いします。

これからもハンディをもっている方を助け合っていきましょう。私も頑張ります。



じねんじょの“輪”

～じねんじょと繋がりのある方々から一言コメント～

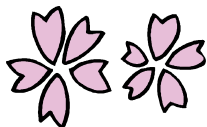
☆今回は、夏休みボランティアに参加してくれた小学生の田邊さん、悦喜さんからのコメントです。これからもよろしくをお願いします。

夏休みに初めて参加したボランティアだったので、始めは何をしたらいいのか分かりませんでした。でも、私が話しかけたり遊んだりした時のみんなの笑顔を見たら、一緒に楽しんだらいいんだと思うようになりました。普段できないことを体験することができ、本当に良かったです。
田邊茉友子

夏休みにじねんじょでボランティアを体験させてもらいました。最初は不安でいっぱいでしたが、いろんな人達と交流を深めることができました。また、私自身もプールや本の読み聞かせなどでいっしょに楽しませてもらいました。心も大きく成長でき、色々な人とふれ合う事の大切さなどを学べてうれしかったです。
悦喜茉優

寄付者氏名(敬称略、順不同)

H21.10.8.~H22.3.18.



- ・やまぐち小児科
- ・かにの集い
- ・原田勉
- ・陶芸サロンじねんじょ窯
- ・さをり織りサークル
- ・梅光学院幼稚園
- ・じねんじょ保護者会

たくさんのご寄付を頂きました。

ありがとうございました。



編集後記

桜の花のたよりが聞かれる頃になりました。じねんじょ5周年では、たくさんの方に来ていただき、メンバー・スタッフ・地域の方々と一緒にフェスティバルを開催することができました。

今号の大地のテーマ「つぼみ」としました。これは前号「根付き」からの展開であり「じねんじょの芽から新しい地で花のつぼみを付ける」という意を込めてとりあげてました。5月には従たる施設だいちがオープン予定となり、新しい地での活動が始まります。メンバー・スタッフともに大きな夢を抱き、じねんじょの輪が大きく広がっていくことを期待しています。

今号でも前号に引き続き、地域とのつながりをとりあげ、じねんじょに関わる方にインタビューやコメントを寄せていただきました。ご協力ありがとうございました。
(編集委員)